

# 高師台中学校の ESD 活動

## <活動の概要>

- ・当校は、「地域とともに共生」を ESD の学校理念として、ESD の実践を通して地域社会に育む他者理解の力の育成を目標とした。具体的には、防災・福祉・環境を柱に、①防災に係わる活動、②福祉に係わる活動、③環境に係わる活動を行った。

## ・活動の実際

### ① 防災にかかわる活動（全校生徒）

#### 講演

「<あの日>以降をいきる ～東日本大震災における被災地（岩手県沿岸部）の現状等から学ぶ～」(R3年度)

東日本大震災後の福島でボランティア活動を行った本校事務職員の田中麻美氏を講師に迎え講演会を行った。震災直後の教室の写真や津波の高さを本校の校舎で例えるなど、わかりやすく被災地の様子が伝えられた。いつ来るかわからない災害に対して恐ろしさを知るとともに自分ごととしてとらえ、今できることをしっかり準備していきたいなど前向きな感想をもった。

### ② 福祉に係わる活動（1年生）

#### 「私たちにできる福祉活動」

1年生の総合的な学習において「自分にできる福祉とは」をテーマに福祉について学習している。調べ学習では、福祉についての知識を広めるために図書館やインターネットを利用したり、身近なものと感じられるように駅や公共施設でシンボルマークを探したりしている。体験学習では、アイマスクをつけて盲目・ガイド体験や重りを装着して歩行する高齢者体験、車椅子体験、点字体験などを行っている。障害についての理解を深めるとともに、固定概念にとらわれず相手に合わせたコミュニケーションのできる生徒を育てている。



### ③ 環境に係わる活動（全校生徒・校区）

#### 「ペットボトル・エコキャップ回収と地域の清掃活動」

環境委員会が中心となってペットボトル・エコキャップ回収を行い、リサイクル意識を高める活動を行っている。また、実践的な美化活動として、生徒会が中心となり、休日の土曜部の早朝に校区内の公園や歩道等の清掃活動を行った。この活動はボランティアによるもので、多くの参加者があり、校区を自分たちの力で美しくしようとする生徒を育てている。

